

Cisco Unified Call Studio で Decision Editor に加えられた改善

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、Decision Editor に対して行われた改善について説明します。

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

この資料に記載されている情報は基づいた on Cisco Unified Call Studio、ユニバーサル版です。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[背景説明](#)

症状： N/A

解決策： セッションデータが引数の型コンボ ボックスで選択されるとき、変数名 フィールドはテキスト フィールドから編集可能コンボ ボックスに変更されます。このコンボ ボックスは既知セッションデータをリストし、オペレーションのより多くの柔軟性および容易さを追加するユーザが New 値を入力することを可能にします。

要素のデータが引数の型コンボ ボックスで選択されるとき、変数名 フィールドはテキスト フィールドから編集可能コンボ ボックスに変更されます。このコンボ ボックスは既知要素データをリストし、オペレーションのより多くの柔軟性および容易さを追加するユーザが New 値を入力することを可能にします。

発信者 アクティビティが引数の型コンボ ボックスで選択され、終了状態がアクティビティ型コンボ ボックスで選択される回数とき、終了 State フィールドはテキスト フィールドからコンボ ボ

ックスに変更されます。この要素の終了状態が要素名コンボ ボックスで選択したコンボ ボックスリスト。これは入力された無効な終了状態が原因で引き起こされるエラーの可能性を減らします。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)